

山形県山形市

中心市街地活性化基本計画

【3期計画：令和2年11月～令和8年3月】

- ・江戸期に城下町としてよりも商業都市として発展・繁栄した。
- ・明治22年に市制を施行し、昭和29年に近接12か村、昭和31年に6か村を合併し現在の規模。
- ・平成31年4月中核市に移行。同年6月近隣12市町で連携中枢都市宣言を実施。
- ・人口253,832人(平成27年国勢調査) 面積381.58km²

【前期計画(平成26年11月～令和2年10月)の概要】

- 山形駅前や七日町に立地していた百貨店や複合商業施設の閉店、再開発事業の遅れなどにより歩行者・自転車通行量が減少。
- リノベーション事業の推進や新規出店者向けの相談窓口開設、新規出店にかかる補助制度の創設などにより空き店舗率は大きく改善。
- 再開発事業の遅れや施設の活用手法の変更等により最新値では入込数が大きく減少したものの、官民が連携しイベント等のソフト事業を展開したことで、街なか観光客の入込数は増加傾向。

【中心市街地の課題等】

- 歴史・文化を活かし、回遊できるまちづくり
歴史的・文化的資源の更なる活用とともに、効果的にPRを実施しながら、観光客の誘客や回遊性の向上に取り組むことが必要。
- ニーズを踏まえた出店促進によるまちの魅力向上
まちに魅力があると感じている方の割合は低く、来街者のニーズを踏まえた店舗構成を促進し、街の賑わい創出を図っていくことが必要。
- 居住環境の向上
中心市街地への居住ニーズは増加しており、居住人口増加のため良質な集合住宅の建設など居住環境としての魅力を創出する取組が必要。

【目指す中心市街地の都市像】

人が集い、暮らす、次代へつなぐまちの魅力の創出

【前期計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値 <small>※()は目標値の達成見込</small>
賑わい拠点の創出	歩行者・自転車通行量 (休日:12地点平均)	32,853人 (H25)	36,000人 (R2)	28,996人 (R1:未達成)
商業の魅力の向上	空き店舗率	15.5% (H25)	12.1% (R2)	8.4% (R1:達成見込)
街なか観光交流人口の増加	街なか観光客の入込数 (6施設)	744,374人/年 (H25)	950,000人/年 (R2)	668,591人/年 (R1:未達成)

【新計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値
賑わいの創出	歩行者通行量 (休日:10地点平均)	22,399人/年 (R1)	22,575人 (R7)
新規出店の誘導	新規出店数	46件 (H28～R1平均×6)	95件 (R2～7)
居住環境の向上	転入者数	4,543人 (H26～R1)	4,787人 (R2～7)

歴史・文化資源の魅力向上による賑わいづくり

- 【主要事業】
- ・日本一の観光案内推進事業
 - ・中心市街地歩行者空間創出事業
 - ・景観重点地区景観形成事業
 - ・歴史と文化活用街区整備事業

エリアマネジメントによるまちの魅力の向上

- 【主要事業】
- ・中心市街地新規出店者サポート事業
 - ・中心市街地活性化戦略推進事業
 - ・(仮称)まちなか商店リニューアル検討事業
 - ・商業店舗誘致促進検討事業

街なかへの居住推進

- 【主要事業】
- ・七日町第5ブロック南地区第一種市街地再開発事業
 - ・地域大学との連携による学生の街なか居住推進事業
 - ・中心市街地活性化公園整備事業
 - ・山形駅前地区消雪道路整備事業

山形市中心市街地活性化基本計画の事業概要

歴史・文化資源の魅力向上による賑わいづくり

①日本一の観光案内推進事業

山形駅構内に観光情報発信拠点を設置し、観光案内や観光情報の発信を行い、歩行者通行量の増加を図る。



②中心市街地歩行者空間創出事業

中心市街地内の道路空間をオープン化しオープンカフェなどの実施や、トランジットモール化の社会実験を行い、歩行者通行量の増加を図る。



③テロワージュ推進事業

山形の食の体験や中心市街地の歴史・文化施設を巡るツアー等を開催し、観光客の入込数と歩行者通行量の増加を図る。



④景観重点地区景観形成推進事業

七日町御殿堰周辺を景観重点地区に指定し、統一感のあるまちなみ景観を創出する。

⑤歴史と文化活用街区整備事業

御殿堰や歴史的建造物である四山楼の母屋・蔵座敷など文化資産を活用した街区を整備し、回遊環境の向上を図る。

街なかへの居住推進

⑥七日町第5ブロック南地区第一種市街地再開発事業

歴史的観光資源である御殿堰の隣接地において、景観と調和した商業施設及びマンションを整備し、まちの魅力創出と街なか居住を推進する。

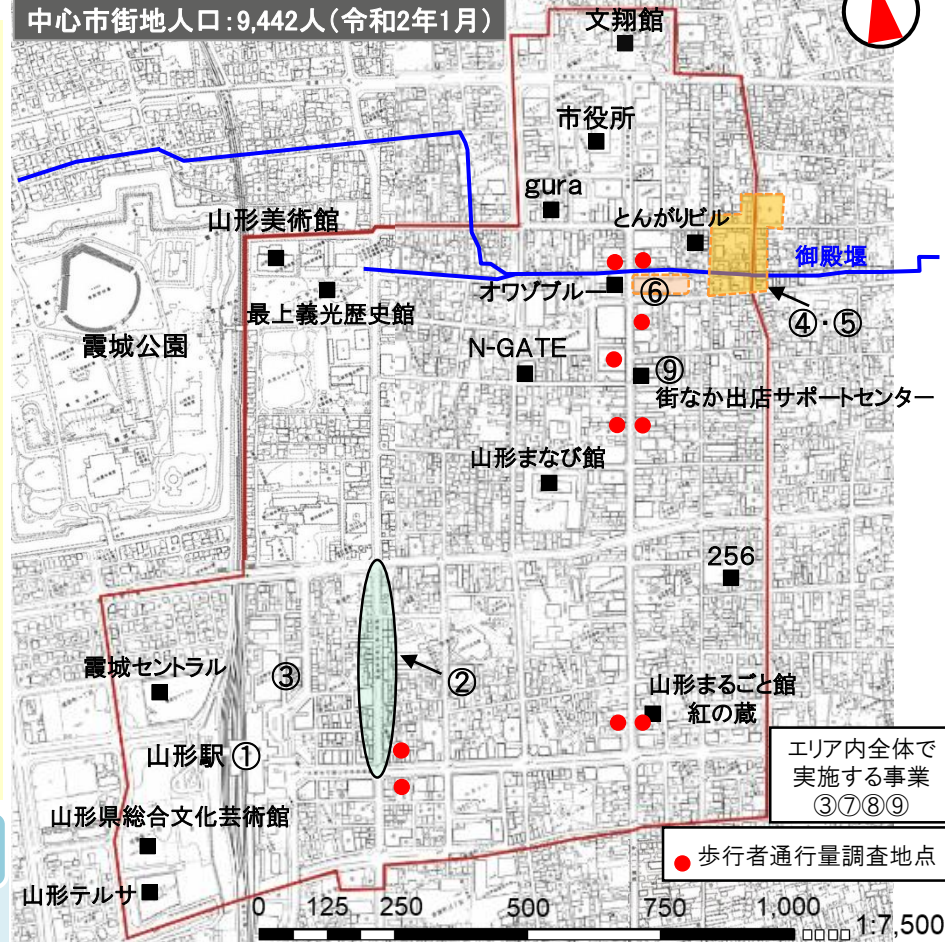


⑦地域大学との連携による学生の街なか居住推進事業

山形市、山形県、山形大学、東北芸術工科大学及び山形県住宅供給公社が連携し、中心市街地にある空き家等を活用した準学生寮の供給を行い、まちなかの居住人口の増加及び遊休不動産の解消による中心市街地の活性化を図る。

中心市街地面積：約141ha

中心市街地人口：9,442人(令和2年1月)



エリアマネジメントによるまちの魅力の向上

⑧山形市中心市街地新規出店者サポート事業

空き店舗を活用した出店時の施設整備費の一部を助成し、空き店舗の解消と街の魅力向上を図る。

⑨山形市中心市街地活性化戦略推進事業

山形市や山形商工会議所、民間事業者等が連携し、新規出店や再開発事業等を促進し、まちの魅力向上と経済活力の向上を図る。